

CIEE Japan からの回答

1. 万が一、試験の実施等における重大なトラブルが発生した場合に、再試験の実施は可能か（特に、各試験における年間の最終回で発生した場合）。再試験においては、検定料を再度徴収するのか。可能でない場合、受験生保護の観点から、どのような対応が考えられるか。

TOEFL iBT の場合は本システム用の最終実施月を 11 月にしております（公開済み）、文科省および大学入試センターに許可いただいております（参加申込時に再三伝えており、そのうえで認定されています）。仮に、11 月の最終実施日において主催側の問題で重大なトラブルがあった場合（他実施日も同様ですが）、受験者は受験料返金もしくは再受験を選択できます。スコアが NCUEE に届くのは試験日からおよそ 13 日後です。

2. 各試験実施団体の次年度の試験日、試験会場の規模等はいつまでに決定しておく必要があるか。

試験日は前年 11 月に公表予定。通常前年実績に基づき会場手配をする（今回のニーズ調査分も当然考慮に入れる）。

3. ニーズ調査の結果を踏まえた試験会場確保のため、試験実施団体と高等学校あるいは教育委員会でどのような調整方法が考えられるか。

ニーズ調査の結果、協力いただける会場があるという認識ではない。

4. 仮に、受検申込後に試験会場の大幅な不足が判明し、かつ試験実施団体において会場の手配が困難である場合にどのような対応を講じるか。

受験予約は 6 ヶ月前から可能。受験申込後に不足は判明しない。